

1  
KSKP

たびだち つうしん

出

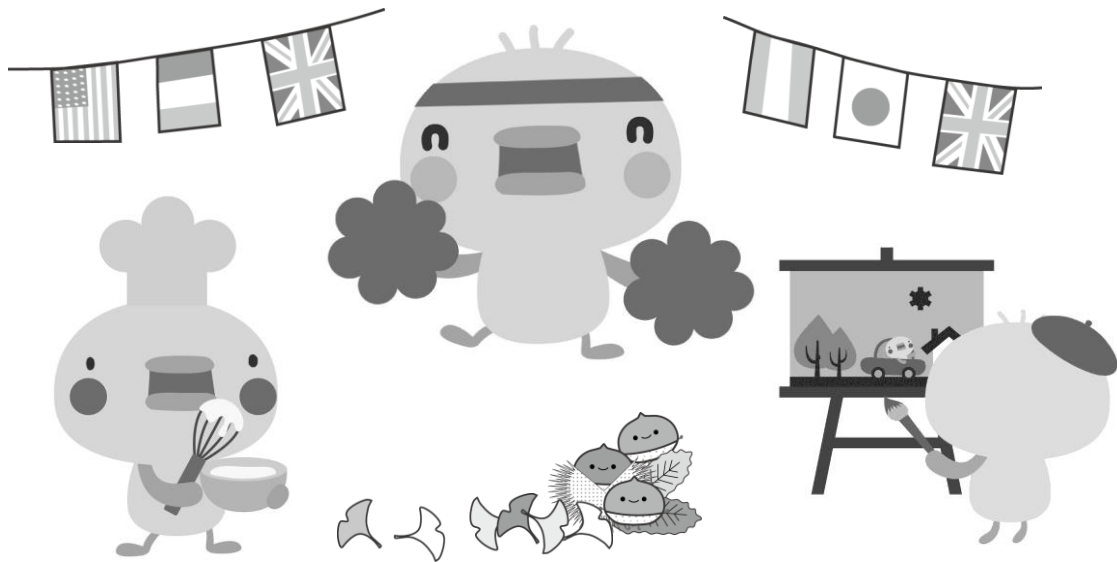
発

通

信

155 号

NPO法人 出発のなかまの会



もくじ  
目次

なんど げんてん もど 何度も原点に戻って	2
そうかい そうかい お NPO総会&どどん総会を終えて	3
い みらくるクラブキャンプに行ってきました!!	4
しんぶん ごう どどん新聞126号より	6
こそだ にっき スタッフ子育て日記	7
わたし ちいき く 私たちは地域で暮らしているんだ	8
しんにゅうしょくいんしょうかい 新入職員紹介	9
せきべつ 惜別	10
だいひょうり じたいにん だいひょうり じしゅうにん 代表理事退任のごあいさつ、代表理事就任のごあいさつ	11
かつどう 活動のあと	12

一九八四年 八月二十日 第三種郵便物認可  
毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

なんど げんてん もと  
**何度も原点に戻って**

出発のなかまの会の立ち上げ（1979年12月）は、兵庫県の日本海側に近い山のなかにキャンプ場と「出発の家」を作ることから始まった。そこは大阪から離れ、自然のなかで自由に遊び活動できる非日常的な場である。当時、重度知的障害をもつ人達（以下「メンバー」と記す）にとって日常的な場である地域は、制度的にも、地域社会の理解も、かなり厳しいものだった。学校を卒業してからの行き場はほとんど無く、親を中心とした関係者で居場所を作り出していくしかない状況であった。会としての地域での最初の活動は、地域の活動拠点としての作業所作りから始めた。学校を卒業したメンバーの行き場だけではなく、地域との積極的なつながりを求めアピールする場としての作業所でアルミ缶回収、リサイクル活動、パン販売等をおこなった。次に取り組んだのが、地域での生活の場としてのグループホーム作りだった。親亡き後の場としてではなく、メンバー中心の生活の場として始めた。当時（1991年）のグループホーム制度はひどく、重度知的障害者はグループホーム制度の中に入っていなかった。それでも、会でグループホームを立ち上げた後、大阪市との話し合いで重度加算が認められるようになった。メンバーが、グループホームでの生活を続け、経験を重ねていくことによって、生活の質が高まっていった。たとえば、自分で物を選んで買う喜びや、旅行の行き先を自分達で決め、準備する楽しさ、旅行先での楽しさを経験し、習い事（習字・プール・韓国語教室など）に出かけ、習い事を通じての達成感を得た。地域の人との出会いもあった。

ガイドヘルパー制度の導入では、親でもなくスタッフでもない、新しい関係で出かけることになった。初めはトラブルの連続だったが、トラブルを通じて地域の人達と新しい関係ができていった。地域生活では、近所との普段からの挨拶、言葉がけがとても大切だ。生活が活発（ごく当たり前の生活を始めたという意味）になれば、障害者年金中心の経済的基盤では生活が難しく、かといって他に利用できる制度がないため、生活保護を申請することにした。メンバーのニーズに答えようとするれば、グループホームスタッフ中心の生活支援ではなく、個々の生活に合った支援が必要となり、グループホーム内でのホームヘルパー利用を申請した。それでも介護の足りないメンバーについては、生活保護のなかの他人介護を申請していった。グループホームの必要性が高まっていくなかで、次に入居を望んでいるメンバーへの体験入居制度を大阪市との話し合いで作らしていきなど、メンバーの地域生活が活発になり質が高まっていくようになるにしたがい、メンバーのニーズの後を追いかけるように新しい制度を作ったように思う。

わたし たびだち かい だいいちせだい だい いっせん しりぞ つぎ せだい だい ちゅうしん  
 私たち「出発のなかまの会」の第一世代(60代)が一線を退き、次の世代(40代)が中心  
 となつて「出発のなかまの会」を運営している。新しい若いスタッフも増え、悪戦苦闘しな  
 がら頑張っているようだ。ただ、いつも思っているのは、私たちは何のために仕事を  
 し、活動を続けているのか。それは、メンバー達が地域社会のなかで自分らしい暮らしを続け  
 ていくことの一点にある。そのための日中活動の場であり、生活の場としてのグループホーム  
 であり、メンバーのニーズに応じたヘルパー派遣をおこなう「ヘルプセンター・すきっぷ」  
 である。

らいねん あたら きよてん たち だい わかもの だいなか こうはん  
 来年には新しい拠点ができる。メンバー達も20代だった若者から40代半ば後半になつて  
 くる。生活の質も変わってくると思われる。これからも色々なことが起こり続けると思うが、  
 その度にメンバー達の「地域での自分らしい生活を続けたい」という原点に立ってほしいと思  
 う。 (ヒロヒサ・O)

## NPO総会&どんだん総会を終えて

ねん がつ にち ど かいかん かい いくのく だい かいいていじ そうかい  
 2015年5月23日(土)に KCC 会館5階ホール(生野区)にて、第16回定時総会をおこないま  
 した。当日は105名の出席(うち委任状出席者は13名)で、定款に定める総会として進める  
 ことができました。

れいねんどお しゃしん つか じぎょうほうこく けっさんほうこく じぎょうけいかく よさん せつめい  
 例年通り、写真、イラスト、グラフを使って事業報告・決算報告・事業計画・予算が説明さ  
 れ、承認されました。役員を選任や、移転に向けて「事務所の所在地」の記載についての定款  
 変更も承認されました。事業報告では、新しく建設する作業所をよりよいものにするために  
 おこなった「作業所のサービスをよくする会議」の実施報告などがありました。2015年度は、  
 これからの作業所の展開や、地域の誰もが利用できる居場所作りなど、さまざまな問題に  
 積極的に関わり、地域の方々と連携して、活動を進めていくことが確認されました。

こうはん じりつせいかつ そうかい ほうこく はっぴょう れんしゅう  
 後半は、自立生活センター・どんだんの総会です。メンバーたちは、報告や発表の練習を  
 何度も繰り返して、総会に挑みました。事前に決めた役割を、みなさん見事にやりきりました。

ねんど こうえんかい がっこう じゅぎょう じぶん く しゅみ しごと  
 2014年度は、たくさんのメンバーが、講演会や学校の授業で、自分の暮らしや趣味・仕事の  
 話をしました。交渉、学習会、地域の事業所との交流をおこないました。2015年度は、

ひと おうえん こうしょう ちから あ  
 『じりつする人を応援するぞ』『交渉がんばるぞ!!』『力を合わせてがんばろう!!』の3  
 つの目標が決まりました。シュプレヒコールをみんなでした後、恒例の【どんだんの歌】を、  
 メンバーのピアノ伴奏に合わせ大合唱し、総会は幕を閉じました。 (ヨシミ!)

## みらくるクラブキャンプに行ってきました！！

9月5～6日にみらくるクラブのキャンプを行いました。連日続いた雨は上がり、ウキウキした気分、子ども 14名、親御さん 9名、スタッフ・ボランティア 20名、総勢 43名を乗せたバスが滋賀県高取山に向けて出発しました。

初日はアスレチックやそりすべりをして遊びました。そりすべりは滑りやすいように散水されていたので、服がどろんこになりながらも子どもたちは楽しそうに滑っていました。A君(5歳)は「31回滑ったで」ととても自慢げに話してくれました。夕食は『ナンカリー、じゃがいももち、寒天ゼリー』を作りました。ナンは火加減が難しく、はじめは少し焦げてしまいましたが、B君のお父さんが窯の絶妙な火加減をマスターしてくださり、とってもおいしくできました。食事の後はキャンプファイヤーです。

今年も火を灯すために“火の女神”が来てくれました。昨年も参加したC君(小学4年生)は「火の女神様、棒でやっつける！」と楽しみにしていました。

キャンプファイヤーが始まり火の女神の登場で雰囲気盛り上がりしました。火がついて、火の勢いと共にさらに盛り上がり、最後は「今日の日はさようなら」を歌い、今日が終わるのが少し寂しい気持ちになりながらも、楽しかったキャンプファイヤーがお終わりました。



2日目は3チームに分かれてハイキングです。朝からあいにくの雨。足が不自由なD君がどうやったら登れるだろうと悩んでいたスタッフを見て、Eちゃん(小学5年生)の口から「行けるやん。行くやろ？」と、心強い一言が出ました。一昨年の登山で暴風雨を経験しているからでしょう。スタッフが道の様子を見に行き、D君は歩行器ではなく背負子を使うことになり、いざ出発。A君は初めてのハイキングです。どんどん険しくなっていく道を見て「これ、ちょっと疲れるなー」と一言。途中で雨が降り、滑りやすいコンディションでしたが、めげることなく歩き続け、ゴールまでたどり着くことができました。D君(小学2年生)も初めてのハイキングです。お母さんは「ハイキングはしたことがなくて体調もどうなるかわからないから一緒に(下のコースへ)行きます。」と仰っていましたが、D君が担当の人や他の子どもたちと楽しく遊んでいる様子を見て、「私も上(上級者コース)まで行きます。Dは私が

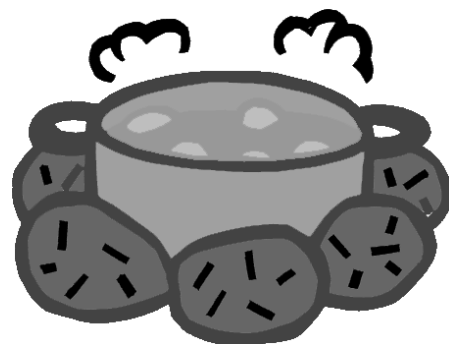
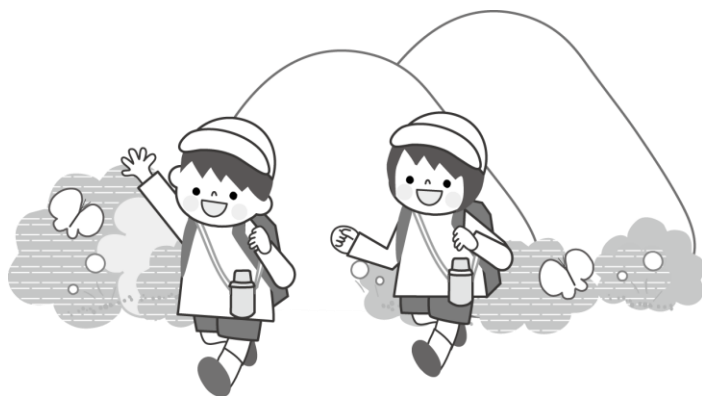
いなくても大丈夫そうなので」と言い、お兄ちゃんのF君（小学4年生）と一緒に頂上まで登るチームへ。D君は歩いたり背負子に乗ったりしながら、先頭に立つと「やったー先頭に立ったー」と大喜びでした。

初めてキャンプやハイキングに参加する家族が多かった今回は、子どもたちも親御さんも担当の人と仲良くなれるかな？」「ちゃんと歩けるかな？」等、不安でいっぱいだったと思います。しかし時間の経過とともに、子どもたちが担当の人や他の子どもたちと楽しそうに関わる様子を見て、不安は薄れていき安心して担当の人に任せることができたのだと思います。

親御さんは、我が子がどうしても気になってしまい、離れることが難しいものですが、今回は担当の人をはじめ、他の親御さんや子ども同士などたくさんの方が関わっていく中で「ずっと自分が我が子を見てなくてもいいんだ」と思えたことで、B君のお母さんが帰りのバスで「自分の子ども以外の子と関わった事が良かった」と仰ったのではないかと感じました。障害の有無や年齢の垣根を越えて、自然と関わりが生まれたのも良かったなと感じました。親御さんたちが率先して片付けや皿洗い、夕食作りでは火の当番をしてくださって、みんなに役割があり本当に全員で作りに上げたキャンプだと感じました。

今回も多くボランティアの方に協力していただき、ありがとうございました。たくさんの方から支えて頂いていることに感謝し、これからも様々なことに挑戦したいですね。

(コウジ・T)



©どんどん新聞 No.126 から抜粋して掲載しています

## どんどん新聞 No.126



発行日 2015 年 9 月 28 日

発行者 自立生活センター・どんどん

大阪府生野区田島 1-10-30

tel 06-6758-6641 fax 06-6758-6749



## どんどん総会をしました。

2015 年 5 月 23 日 (土) 場所: KCC 会館

### ◆しっかり報告したぞ!

どんどんは、毎年 5 月の総会で、昨年度の活動報告(案)と今年度の活動計画(案)を発表します。当日の役割は、どんどん会議で決めています。本番が近づくと何度も練習します。

今年は、普段、どんどん会議に参加していないメンバーにもいろいろ協力してもらいました。H さんは今年度のどんどん役員を決めるとき、照れながら「O」カードを持ち、みんなの前に立ちました。

K さんは対市・対府交渉の報告で、黄色の T シャツを着て、「われわれは闘うぞー!」とシュプレヒコールをあげました。その声で、みんな去年の交渉のことを思い出し、一気に場が盛り上がりました。

昨年度の ILP おしゃれ編の報告のときには「おしゃれだと思える人集合!」と声をかけました。すると、真っ先に立ち上がったのは P さんです。I さんと一緒に前に出て、着ていた服を披露しました。最後は女性のメンバー全員とおしゃれな男性メンバーが集合し、まるで写真撮影会のような雰囲気になりました。

K さんは、2015 年度活動計画(案)を発表するときに O・T さんに質問しようと思いました。ところが聞いた相手は、なんと O・N さんだったのです! プロジェクターを見るために照明を落としていたので、双子の弟さんと間違えてしまったようです。最後に、T さんが、どんどんの歌を歌い総会は終了しました。伴奏でピアノをひいた T さんは、総会のために必死で練習をしました。

今年もどんどんは、学習会に ILP、交渉など計画がいっぱいです。今年もみんなで力を合わせて頑張るぞー!!

こそだ にっき  
スタッフ子育て日記



息子<sup>むすこ</sup>が産<sup>う</sup>まれて、現<sup>げんざい</sup>在<sup>かげつ</sup> 8ヶ月、すくすくと成<sup>せいちよう</sup>長<sup>ちよう</sup>している。息子<sup>むすこ</sup>は3850g<sup>グラム</sup>で産<sup>う</sup>まれた。周<sup>まわ</sup>りから「大<sup>おお</sup>きな子<sup>こ</sup>が産<sup>う</sup>まれて来<sup>き</sup>たね」と言<sup>い</sup>われ、私<sup>わたし</sup>の中<sup>なか</sup>では、無<sup>ぶ</sup>事<sup>じ</sup>に産<sup>う</sup>まれてくれただけで涙<sup>なみだ</sup>が止<sup>と</sup>まらなかつたのに、「大<sup>おお</sup>きな子<sup>こ</sup>が産<sup>う</sup>まれた」と言<sup>い</sup>うのを看<sup>かん</sup>護<sup>ご</sup>師<sup>し</sup>さんから聞<sup>き</sup>いて、「大<sup>おお</sup>きな子<sup>こ</sup>？」と疑<sup>ぎ</sup>問<sup>もん</sup>に思<sup>おも</sup>った。「息子<sup>むすこ</sup>はそん<sup>お</sup>な<sup>お</sup>に大<sup>おお</sup>き<sup>い</sup>のか？周<sup>まわ</sup>りの子<sup>こ</sup>はそん<sup>お</sup>な<sup>お</sup>大<sup>おお</sup>き<sup>く</sup>ないのか？」と他<sup>ほか</sup>の子<sup>こ</sup>供<sup>ども</sup>を見<sup>み</sup>て自<sup>じ</sup>分<sup>ぶん</sup>の目<sup>め</sup>で確<sup>かく</sup>認<sup>にん</sup>をす<sup>す</sup>るこ<sup>こ</sup>もあ<sup>あ</sup>つた。

そし<sup>そ</sup>て息<sup>むすこ</sup>子<sup>こ</sup>が退<sup>たい</sup>院<sup>いん</sup>する時<sup>とき</sup>、他<sup>ほか</sup>の子<sup>こ</sup>供<sup>ども</sup>を見<sup>み</sup>ると「確<sup>かく</sup>か<sup>か</sup>に他<sup>ほか</sup>の子<sup>こ</sup>供<sup>ども</sup>と違<sup>ちが</sup>って息<sup>むすこ</sup>子<sup>こ</sup>の方<sup>ほう</sup>が大<sup>おお</sup>き<sup>く</sup>てしわも少<sup>すく</sup>ないな」と感<sup>かん</sup>じ<sup>じ</sup>た。そん<sup>お</sup>な<sup>お</sup>息<sup>むすこ</sup>子<sup>こ</sup>が風<sup>かぜ</sup>邪<sup>じや</sup>もひか<sup>か</sup>ず、海<sup>うみ</sup>に行<sup>い</sup>つたり、テニスコートに行<sup>い</sup>つたり、お爺<sup>じい</sup>ちゃんやお婆<sup>ばあ</sup>ちゃんに抱<sup>だ</sup>っこして<sup>して</sup>もら<sup>ら</sup>って<sup>て</sup>は泣<sup>な</sup>いたり笑<sup>わら</sup>ったり<sup>り</sup>して<sup>して</sup>いる<sup>る</sup>のを見<sup>み</sup>て、「子<sup>こ</sup>供<sup>ども</sup>が<sup>が</sup>いる<sup>る</sup>だ<sup>だ</sup>けで、こ<sup>こ</sup>ん<sup>お</sup>な<sup>お</sup>に<sup>に</sup>も周<sup>まわ</sup>りを幸<sup>しあ</sup>せに<sup>に</sup>して<sup>して</sup>く<sup>く</sup>れ<sup>れ</sup>る」と思<sup>おも</sup>うと、自<sup>じ</sup>分<sup>ぶん</sup>の中<sup>なか</sup>で「子<sup>こ</sup>育<sup>そだ</sup>ては楽<sup>たの</sup>しい」と思<sup>おも</sup>う反<sup>はん</sup>面<sup>めん</sup>、「自<sup>じ</sup>分<sup>ぶん</sup>の好<sup>お</sup>き<sup>い</sup>な<sup>な</sup>こ<sup>こ</sup>とを我<sup>が</sup>慢<sup>まん</sup>して、息<sup>むすこ</sup>子<sup>こ</sup>に<sup>に</sup>尽<sup>つ</sup>く<sup>く</sup>して一<sup>いち</sup>人<sup>にん</sup>前<sup>まえ</sup>の大<sup>お</sup>人<sup>とな</sup>にしな<sup>し</sup>ないとい<sup>い</sup>け<sup>け</sup>ない」と、親<sup>おや</sup>の責<sup>せき</sup>任<sup>にん</sup>につ<sup>い</sup>て意<sup>い</sup>識<sup>し</sup>するよ<sup>よ</sup>うに<sup>に</sup>な<sup>な</sup>つた。

先<sup>せん</sup>日<sup>じつ</sup>、息<sup>むすこ</sup>子<sup>こ</sup>が初<sup>は</sup>め<sup>め</sup>で風<sup>かぜ</sup>邪<sup>じや</sup>をひ<sup>ひ</sup>いた。熱<sup>ねつ</sup>はあ<sup>あ</sup>ま<sup>ま</sup>り高<sup>たか</sup>く<sup>く</sup>な<sup>な</sup>か<sup>か</sup>つた<sup>た</sup>が、せ<sup>せ</sup>きと鼻<sup>はな</sup>水<sup>みず</sup>がひ<sup>ひ</sup>ど<sup>ど</sup>く、寝<sup>ね</sup>るの<sup>の</sup>も苦<sup>く</sup>勞<sup>らう</sup>して<sup>して</sup>いる<sup>る</sup>のを見<sup>み</sup>て、息<sup>むすこ</sup>子<sup>こ</sup>がこ<sup>こ</sup>ん<sup>お</sup>な<sup>お</sup>に辛<sup>つら</sup>そう<sup>そう</sup>に<sup>に</sup>して<sup>して</sup>いる<sup>る</sup>の<sup>の</sup>に何<sup>なに</sup>も出<sup>で</sup>来<sup>き</sup>ない<sup>い</sup>のかと心<sup>こころ</sup>の中<sup>なか</sup>で悔<sup>く</sup>し<sup>し</sup>か<sup>か</sup>つた。

最<sup>さい</sup>近<sup>きん</sup>つ<sup>つ</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>り立<sup>た</sup>ち<sup>ち</sup>を<sup>を</sup>は<sup>は</sup>じ<sup>じ</sup>め<sup>め</sup>た息<sup>むすこ</sup>子<sup>こ</sup>は、机<sup>つくえ</sup>の上<sup>うえ</sup>の物<sup>もの</sup>を取<sup>と</sup>つては口<sup>くち</sup>に物<sup>もの</sup>を入<sup>い</sup>れて確<sup>かく</sup>認<sup>にん</sup>をしようとする。それを見<sup>み</sup>て<sup>て</sup>いる私<sup>わたし</sup>は、心<sup>こころ</sup>の中<sup>なか</sup>でひ<sup>ひ</sup>や<sup>や</sup>ひ<sup>ひ</sup>や<sup>や</sup>し<sup>し</sup>な<sup>な</sup>が<sup>が</sup>ら息<sup>むすこ</sup>子<sup>こ</sup>がひ<sup>ひ</sup>っ<sup>っ</sup>く<sup>く</sup>り返<sup>かえ</sup>ら<sup>ら</sup>ない<sup>い</sup>か心<sup>しん</sup>配<sup>ぱい</sup>し、後<sup>うし</sup>ろで息<sup>むすこ</sup>子<sup>こ</sup>の背<sup>せ</sup>中<sup>なか</sup>を支<sup>さ</sup>え<sup>え</sup>な<sup>な</sup>が<sup>が</sup>ら息<sup>むすこ</sup>子<sup>こ</sup>が楽<sup>たの</sup>しん<sup>しん</sup>で<sup>で</sup>いる<sup>る</sup>のを見<sup>み</sup>て一<sup>いっ</sup>っ<sup>っ</sup>しょ<sup>しょ</sup>に<sup>に</sup>楽<sup>たの</sup>しん<sup>しん</sup>で<sup>で</sup>いる。

(ワタル・H)



わたし ちいき く  
私たちは地域で暮らしているんだ

さくねん ひ つづ ことし  
昨年さくねんに引き続き今年ことしも、グループホームとんぼまるとグループホームきららとそのご近所きんじよさんさんを誘さそっての交流会こうりゆうかいを 8 月 28 日がつ にちにおこないました。

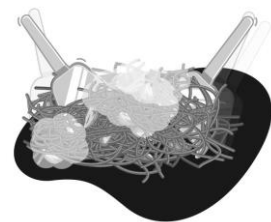
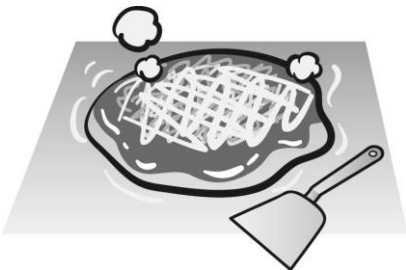
さくねん なが ことし や ぶるま  
昨年さくねんはそうめん流しながでしたが、今年ことしは焼きそばやを振舞ぶるまいました。グループホームスタッフ、ヘルパーとで奮闘ふんとうしながら大きな鉄板おお てっばんで焼きそばやを炒めいただすとその匂においにつられて(?) 近所きんじよの方も顔かた かおをだしてくださりました。スタッフの子どもこ ともも加わり、今年ことしも賑やかな交流会きんじよ かい こうりゆうかいとなりました。

きんじよ かた まえ たけ  
ご近所きんじよの方は「前は竹たけにそうめん流しながしとったな〜」と、昨年さくねんのことも覚えておぼてくださり、さらに「あの兄ちゃんにい、ぎょうさん食たべてるけど大丈夫だいじょうぶか?」と心配しんぱいして下さる方かたや、「この前まえ見たけどあの兄ちゃんにいは自転車じてんしゃの乗れるんやな〜」など、メンバーがご近所きんじよの方に知しってもらえていることを実感じっかんできた瞬間しゅんかんでもありました。

わ きんじよ しょうがくせい さんか いま  
スイカ割りわでは近所きんじよの小学生しょうがくせいたちも参加さんかしてくれたのですが、今いままではメンバーの動きうごきや声こえなどに対して少し不安ふあんそうにみていたのが、今回こんかいはそんなこともなく、ごく自然しぜんに同じ空間おな くうかんで楽しんでたのんでいたことがとても印象いんしょうてき的てきでした。

あ まえ  
まだまだ、当たり前あのことが当たり前あでないということが私わたしたちの暮らくしている中なかではたくさんあるように思おもいます。自分自身じぶんじしんも諦あきらめて限界げんかいだと決めてしまっていたのかもしれませません。今回こんかいは地域ちいきとの関わりかかりの中でそんなことに気づきき、やっぱり地域ちいきっていいなと思おもわされました。

(ミノル・T)







しんにゅうしょくいんしょうかい  
新入職員紹介



だいとうれいこ  
大東玲子さん



かつ にゅうしょく  
7 月に入 職 し、ヘルプセンター・すきっぷで猛 勉強 中の大東玲子です。

わたし う そだ いくのく さい す つうしん だいがく ふくし まな  
私は生まれも育ちも生野区で、20 歳を過ぎてから通信の大学で福祉を学びました。ちよう  
どそのころ、すきっぷでヘルパーとして 働 いていたことから、顔なじみの方も多く、こうし  
てまた素敵ななかまと共に 働 けることを嬉しく思っています。

す  
好きなことは、おいしいものを食べること、読書、旅行、美術館に行くこと、ヨガをすること  
です。娘 2 人と絵本を読んだり、プリンセスプリキュアを見てまねっこをしたり、歌をう  
たったりするのも楽しいです。

みな  
皆さんのことも、もっともっと知っていきたく思っていますので、すきっぷにお立ち寄り  
の際はぜひお声かけくださいね(#^^#)



まえかわまさ や  
前川匡哉さん



たびだち 共 働 作業所の階段で、三度も膝をぶつけてしまいました。どうもはじめまして、  
まえかわ  
前川です。

ほんねん かつ  
本年 6 月より、たびだち 共 働 作業所で勤務させていただいております。膝が痛くても 40 過  
ぎの年にはかなわんと自分の心に素直に、そしてにっこりと、メンバーさん、スタッフに会  
えることを毎日楽しく思っています。作業所では毎日、いろんな発見があります。メンバーさ  
ん、スタッフとの交わりで気づかされる多くのことは、私 自身の生活においても大変有意義な  
じかん あた  
時間を与えてくれます。たとえ膝が痛くても、どんな困難があっても常ににっこりとしていら  
れるという態度を、作業所という環 境は与えてくれます。本当に毎日感謝です。

たびだち  
出発のなかまの会につながるまで、いろんな方たちとの出会いがありました。多くの方たち  
との出会いに心 より感謝しています。これまでの出会いに感謝しつつ、またこれからの出会い  
を大切にしていきたいと思えます。いくつかの出会いがいくつかのつながりとなってひろがっ  
ていければ、面白そうだなと思っています。いくつかの出会いのためにも作業所で教えてもら  
った“にっこり”を大切にしたいと思えます。どうぞ、よろしくお願いいいたします。

せきへつ  
惜別

ねん がつ にち かわばたとしひこ な わたし たいせつ ひと  
2015年3月24日、川端利彦さんが亡くなられました。私 たちにとり、とても大切な人  
でした。

せいしんはくじゃくじつうえんしせつ どうじ めいしょう しゃかいふくしほうじんいくの いえ げん いくの  
精神薄弱児通園施設（当時はこの名称でした）社会福祉法人生野こどもの家（現、生野み  
んなの家）の設立準備チームに加えていただきました。月川と村中も仲間として参加させてい  
ただきました。川端さんは、日本赤十字病院の精神科医でもあり、積極的に学会でも活躍さ  
れていました。自閉症児に取り組み「子どもの家」の顧問になってくださり、また奥さまの  
農富子さんも一時スタッフとしていっしょに仕事をしたことも忘れられません。本当に長い  
の間、私たちは川端さんと一緒に子どもたちと有意義な時をすごし、多くのことを学ばせてい  
ただきました。

とうかい せつりつじ しょうがいじ  
当会の設立時のパンフレットに、障害児としてでなく、ひとりひとりの子どもとしてみる  
してん しょうがい ひと かぞく ちいき い きょうせい しゃかい  
視点や、障害のある人と、その家族が地域であたりまえに生きていける共生の社会づくりの  
大切さを書いてくださり、積極的に支援していただきました。

かわばた いりょうぶんや きょういく ふくし そうけい ふか おおさか  
川端さんは、医療分野にとどまらず、教育、福祉についても、造詣が深く、大阪だけでな  
く、全国にその人柄、考え方、行動に共感される方が多く、活動の輪を広げておられました。  
さいわ わたし みちか あ ちからつよ しえん  
幸いなことに私たちは、身近でいつでも会え、アドバイスをいただき、力強く支援してい  
ただけたことはとてもありがたいことでした。

かわにしし こ かつどう にほん てんかい こ しょうがいしゃ  
川西市で子どもオンブズマンの活動を日本ではじめて展開されました。子ども、障害者、  
こうれいしゃ けんりようご たいせつ うった  
高齢者の権利擁護がいかに大切であるかということもいつも、訴えておられました。

しょうがいしゃ きほんてきじんけん みと ちいき い ほうりつ  
障害者が基本的人権を認められ、地域であたりまえに生きていけるための法律ができた  
はいえ、まだまだ厳しい状況です。川端さんは運動することの大切さも理解され、常に障  
とうじしゃ かぞく あたし しえん つつ たびだち かい ちいき だれ  
害者とその家族への暖かい支援を続けてくださいました。出発のなかまの会は地域で誰も  
はいじょ ささ ささ きょうせいしゃかい じつげん かつどう せつぎょくてき  
排除されることのない、支え支えられる共生社会の実現をめざす活動をこれからも積極的に  
つづ  
続けていきます。

かわばた めいふく ところ いの もう あ  
川端さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

だいひょうり じたいにん  
代表理事退任のごあいさつ

このたび、急に体調を崩し、代表理事の重責を果たすことができなくなりました。これまで、多くの方々のご支援、ご協力をいただき、今日まで、何とか職責を努めることができましたことに感謝お礼申し上げます。

現在、当会では作業所、事務所の新築工事をひかえており、新体制のもと、活動の発展に積極的に取り組んでおります。

今後とも皆さまのご支援、ご協力よろしく願いいたします。

ねん がつ にち つきがわ いたる  
2015年9月16日 月川 至

だいひょうり じしゅうにん  
代表理事就任のごあいさつ

このたび、月川至前代表理事の後任として、代表理事に就任することになりました。任意団体での活動時期を含めると約35年間、前代表理事をはじめ、諸先輩方が“すべての人が当たり前前に地域で暮らせる社会づくり”を目指して精力的に展開されてきた活動を受け継ぎ、“もっとも困難だと思われるところから取り組む”精神を忘れず、多くの市民の方々と共に歩んでいきたいと思っております。今後ともご支援、ご協力をよろしく願いいたします。

ねん がつ にち かつ い みさお  
2015年9月16日 勝井 操

活 動 の あ と

- |         |   |         |  |
|---------|---|---------|--|
| 5/1     | どんどん学習会(大阪都構想)  | 7/4     | 知的障害者(児)がイッヘルハ-養成講座<br>(生野区自立支援訪問系事業者連絡会)                                      |
| 5/8     | 大阪都構想反対アピール行動<br>グループホームスタッフ全体会議/執行委員会<br>生野区自立支援訪問系事業者連絡会    | 7/5     | Yさんチャング発表会   |
| 5/9     | 起業セミナー(地域共生ケア生野推進委員会)   | 7/5~6   | ビーブルファースト定期総会  |
| 5/11    | ちまたのコンサート(Kさんダンス出演)   | 7/6     | 建築会議/新作業所備品・設備等配置会議  |
| 5/12    | 理事会   | 7/7     | 内部研修(発達障害勉強会)/緊急時対応整備担当会議  |
| 5/13    | 生野区グループホーム連絡会世話人会   | 7/8     | Kさん IFP(個人将来計画)会議/執行委員会<br>生野区学童期の子ども支援連絡会<br>生野区グループホーム連絡会世話人会                |
| 5/14    | 生野区自立支援訪問系事業者連絡会<br>Eプロジェクト会議(どんどん)                           | 7/9     | 生野区自立支援訪問系事業者連絡会/見学受け入れ  |
| 5/17    | みらくるクラブ【木登り】(住之江公園)   | 7/10    | Mさん IFP(個人将来計画)会議/Iさんケア会議/建築会議   |
| 5/19    | 執行委員会   | 7/10~12 | 北海道旅行  |
| 5/20    | 食と農のプロジェクトをすすめる会  | 7/11    | 知的障害者(児)がイッヘルハ-養成講座<br>(生野区自立支援訪問系事業者連絡会)                                      |
| 5/22    | WAロン/障大連運営委員会/建築会議  | 7/13    | 対府交渉総決起集会・デモ行進   |
| 5/23    | NPO 総会・どんどん総会/HIT 理事会   | 7/14    | Kさん IFP(個人将来計画)会議  |
| 5/25    | Kさん応援会議/生野子どもの暮らし調査プレ実行委員会<br>事業所ネットワーク・自立支援部会合同部会            | 7/15    | 食と農のプロジェクトをすすめる会<br>生野子どもの暮らし調査実行委員会   |
| 5/26    | 内部研修(発達障害勉強会)   | 7/16    | ILP(自立生活プログラム)講座(新生活応援編)③<br>研修受け入れ(特定非営利活動法人マンボウの会)                           |
| 5/27    | Sさん IFP(個人将来計画)会議/作業所ミーティング<br>地域共生型福祉サービス運営推進協議会             | 7/17    | WAロン   |
| 5/28    | Eプロジェクト会議(どんどん)   | 7/19    | 『福祉の就職総合フェア 2015 in O S A K A 』に参加<br>みらくるクラブ【キャンプ事前活動】(ドリーム 21)               |
| 5/29    | 大阪府集団指導/松野農園映画会<br>(食と農のプロジェクトをすすめる会)                         | 7/21    | どんどん学習会(対府交渉)/作業所ミーティング  |
| 5/31    | グッドスタート会議   | 7/22    | Mさんケア会議/地域共生型福祉サービス運営推進協議会   |
| 6/2     | Nさん東京旅行報告会  | 7/23    | Iさんケア会議/Eプロジェクト会議(どんどん)  |
| 6/3     | みらくる学習会   | 7/24    | 障大連運営委員会/地域共生ケア生野推進委員会   |
| 6/4     | ILP(自立生活プログラム)講座(新生活応援編)①                                     | 7/26    | Kさんドラム発表会  |
| 6/5     | グループホームスタッフ全体会議<br>内部研修(糖尿病)/建築会議<br>みらくるクラブ高取山キャンプ会議         | 7/27    | 事業所ネットワーク全体会議第1グループ会議  |
| 6/9     | Uさん IFP(個人将来計画)会議   | 7/27~31 | 『関西☆なう』被災障害者家族との交流   |
| 6/10    | Kさん IFP(個人将来計画)会議/執行委員会<br>生野区グループホーム連絡会                      | 7/29    | Kさん IFP(個人将来計画)会議<br>生野子どもの暮らし調査実行委員会<br>みらくるクラブ高取山キャンプ会議                      |
| 6/11    | Tさん IFP(個人将来計画)会議<br>生野区自立支援訪問系事業者連絡会                         | 7/31    | 内部研修(食生活を見直そう講座)<br>緊急時対応整備担当(非常食点検)   |
| 6/12    | Oさん IFP(個人将来計画)会議/成年後見推進委員会                                   | 8/2     | みらくるクラブ【高取山キャンプ準備会】  |
| 6/13    | HIT 総会  | 8/4     | 『共振×響心 静なる熱情』絵画展へ作品出展  |
| 6/16    | Eプロジェクト会議(どんどん)   | 8/5     | 執行委員会  |
| 6/17    | 食と農のプロジェクトをすすめる会<br>大阪教育大学講演(どんどん)                            | 8/6     | ILP(自立生活プログラム)講座(新生活応援編)④/建築会議<br>生野区自立支援訪問系事業者連絡会世話人会                         |
| 6/19    | WAロン  | 8/7     | 大阪府オールラウンド交渉①  |
| 6/22    | 生野子どもの暮らし調査プレ実行委員会  | 8/10    | 建築会議   |
| 6/23    | 作業所ミーティング/内部研修(発達障害勉強会)<br>生野区子育て支援会議                         | 8/12    | 生野区グループホーム連絡会  |
| 6/24    | 地域共生型福祉サービス運営推進協議会<br>生野区学童期の子ども支援連絡会                         | 8/16    | ゆめ風基金 20 周年記念イベント(Kさんダンス出演)  |
| 6/25    | ILP(自立生活プログラム)講座(新生活応援編)②                                     | 8/18    | 実習説明会(大阪 YMCA 国際専門学校)  |
| 6/26    | 建築会議/障大連運営委員会<br>地域共生ケア生野推進委員会役員会<br>研修受け入れ(生野みんなの家グループホームそら) | 8/19    | 食と農のプロジェクトをすすめる会   |
| 6/27    | 知的障害者(児)がイッヘルハ-養成講座<br>(生野区自立支援訪問系事業者連絡会)                     | 8/20    | 内部研修(発達障害勉強会)<br>生野区自立支援訪問系事業者連絡会<br>生野子どもの暮らし調査実行委員会                          |
| 6/27~28 | ソーシャルファームジャパンサミット in びわこ                                      | 8/21    | WAロン   |
| 6/29    | Kさん応援会議<br>事業所ネットワーク・自立支援部会 合同部会                              | 8/24    | 理事会/大阪府オールラウンド交渉③  |
| 6/30    | どんどん学習会(自転車勉強会)<br>見学(社会福祉法人ゆうとおんうえーぶ)<br>生野子どもの暮らし調査実行委員会    | 8/24~28 | 実習受け入れ(大阪 YMCA 国際専門学校)   |
| 7/2     | みらくるちっぷケース会議<br>Eプロジェクト会議(どんどん)<br>生野区自立支援訪問系事業者連絡会世話人会       | 8/25    | 作業所ミーティング  |
| 7/3     | グループホームスタッフ全体会議/内部研修(総決起集会)                                   | 8/26    | Kさん IFP(個人将来計画)会議<br>地域共生型福祉サービス運営推進協議会<br>みらくるクラブ高取山キャンプ会議<br>Eプロジェクト会議(どんどん) |
|         |   | 8/27    | Nさん IFP(個人将来計画)会議/障大連運営委員会<br>地域共生ケア生野推進委員会役員会                                 |
|         |   | 8/28    | Kさん応援会議<br>事業所ネットワーク全体会議第1グループ会議<br>建築現場説明会                                    |
|         |   | 8/31    |  |

一 九 八 四 年 八 月 二 十 日 第 三 種 郵 便 物 認 可 発 行 人 関 西 障 害 者 定 期 刊 行 物 協 会 大 阪 市 天 王 寺 区 真 田 山 町 二 - 二 一 東 興 ビ ル 4 階 毎 月 ( 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 の 日 ) 発 行

へんしゅうこうき  
編 集 後 記

とほ 遠くにあつてじわじわとちかよ 近寄ってくる  
てんき とつぜん 転機と突然やってくる転機。そりやかさ 重なる  
こと きじないよう 記事内容も二転三転。執筆者  
のみなさま たいへん 皆様大変そうなので。きょう 今この頃です。

(コウハイ・O)

編 集 人

特定非営利活動法人 出発のなかまの会

〒544-0011

大阪市生野区田島1-10-30たびだち共働作業所内

TEL 06-6758-6641

FAX 06-6758-6749

郵便振替 00910-9-306080

(特定非営利活動法人 出発のなかまの会)

Eメール infotabidati@oct.zaq.ne.jp

ホームページ http://www.oct.zaq.ne.jp/tabidati 700部

頒 価 百 円